

## 平成27年度上期「米子市都市公園」モニタリング評価表 (平成27年11月)

施設名	米子市都市公園	
施設所管課	建設部 維持管理課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954-1
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市都市公園は、主に緑豊かな自然環境の中で、休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等のレクリエーション及び大震災等の災害時の非難等の用に供することを目的としている。	
主な実施事業	米子市都市公園の維持管理、猿紹介看板設置、公園パンフレット作成配布、米子つつじ祭協賛、公園内祭開催時の巡視、AEDの設置、公園新聞作成配布、公園内イベント、米川沿いつつつじ補植	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書に基づき管理体制が明確で、適切な人員配置がなされている。 ・緊急時の体制、危機管理マニュアルが作成されており、適切に実施されている。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	<b>事業計画書、研修報告書確認。</b> ・資質、能力の向上を図るための研修、教育が概ね実施されている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書の中で自主事業として、公園パンフレットの作成、つつじ祭での苗木無料配布等を実施しており、自ら施設利用の促進に努めている。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか <b>補足資料※1</b>	B	<b>都市公園行為許可申請、行政財産使用許可申請確認。</b> ・前年度と比べ利用者が減少している。

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	<b>毎月度都市公園報告書確認。</b> ・利用者からの要望等について、迅速に対応できている。
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書に基づき実施されている。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書に基づき実施されている。 ・除草等の地元要望に対して適切な対応を行っている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<b>事業計画書確認。</b> ・事業計画に基づき実施されている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画に基づき適切に実施されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画に基づき実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	A	<b>事業計画書確認。</b> ・情報公開、個人情報保護に関するマニュアルが作成されており、適切に実施されている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	<b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書に基づき巡視を行い、施設の現状が認識されているが、今後の在り方についての提案が具体化されていない。 ・修繕等が必要な箇所は自主事業または、協議書による報告を行っている。

II サービスの質の評価（25点）			
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A <b>利用者アンケート結果報告書確認。</b> ・利用者に対するサービスの向上を図るための自主事業が計画・実施されている。 ・利用者アンケートにおいても比較的良い評価を得ている。
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A <b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・事業計画書に基づき日常の清掃・衛生管理等の管理業務が実施されおり、苦情がなかった。
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B <b>毎月度都市公園報告書、利用者アンケート結果報告書確認。</b> ・毎月の報告会で実施事業等の見直し改善、翌月からの管理運営方法等の確認を行っている。 ・利用許可を行っている利用者への接客・対応を適切に行っている。
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A <b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・公園パンフレットの作成、つつじ祭における苗木の無料配布等、の自主事業を事業計画書に基づき実施されており、利用者に対するサービス向上が図られている。
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B <b>事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。</b> ・日常生活の憩いの場所として公園を利用できるよう、また各施設の設置目的が達成できるよう、現状を正しく認識して管理運営がなされている。
III サービスの安定性の評価（15点）			
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか <b>補足資料※2</b>	A <b>提出資料確認</b> ・前年度同様、過不足なく適切に執行されている。
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※3</b>	B <b>提出資料確認</b> ・利用者の減少により利用者当りコストが増加している。ただし、人件費率は減少している。

3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4	-	下期に実施する。
-------------------	---------------------------------	---	----------

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書に基づき適切なマニュアル及び管理方針が示されており、管理施設及び職員の適正な管理がなされている。</li> <li>・日常点検結果及び施設利用者からの通報及び要望等を基に適切な管理が行われている。</li> <li>・担当課の維持管理課と連絡を綿密に取り合っており、業務上の問題もない。また、アンケート調査結果等により施設利用者から良い評価を得ている。</li> <li>・自主事業では、公園内祭開催時の巡視、つつじ祭においてつつじの苗の無料配布等を行うことで施設のPRを行い、利用促進に努めている。</li> </ul>	<p>合計点 (75) 点 / (95) 点 × 100 = (79) 平均点 (4.2) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

#### 【補足資料】

##### ※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	-	-	(%)	
施設利用者数	63,299 人	83,492 人	△20,193、 76 (%)	事業開催数の減少による利用者数の減。
施設稼働率	-	-	(%)	
事業開催数	146 件	177 件	△31、 82 (%)	

##### ※2 事業収支

###### (1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	-	-	-	
指定管理料	61,000,000	61,000,000	0、 100 (%)	
合計	61,000,000	61,000,000	0、 100 (%)	

###### (2) 支出

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	35,581,900	36,538,295	△956,395、 97 (%)	
需用費	3,878,674	4,285,742	△407,068、 91 (%)	
消耗品費	1,407,395	1,372,976	34,419、 103 (%)	
燃料費	1,194,644	1,314,541	△119,897、 91 (%)	

修繕費	1,276,635	1,515,170	△238,535、	84 (%)	
役務費	2,594,010	1,877,842	716,168、	138 (%)	
通信運搬費	253,165	261,221	△8,056、	97 (%)	
手数料	2,170,935	1,423,305	747,630、	153 (%)	除草量が例年より増加したことにより、処分費が増加したため。
保険料	169,910	193,316	△23,406、	88 (%)	
委託料	2,375,004	2,934,681	△559,677、	81 (%)	
使用料及び賃借料	279,206	236,382	42,824、	118 (%)	
原材料費	316,795	341,076	△24,281、	93 (%)	
備品購入費	59,220	122,760	△63,540、	48 (%)	備品調達が減ったため。
負担金及び交付金	658,702	642,699	16,003、	102 (%)	
公課費	38,200	38,200	0、	100 (%)	
研修費	151,637	50,131	101,506、	302 (%)	剪定、草刈等の安全性を高めるために安全講習を受講させたため。
雑費	379,774	428,772	△48,998、	89 (%)	
諸経費	8,496,209	7,324,534	1,171,675、	116 (%)	
光熱水費	6,190,669	6,178,886	11,783、	101 (%)	
合計	61,000,000	61,000,000			

### ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	0	0	0、0 (%)	
②利用料金比率	-	-	-、- (%)	利用料金制なし。
③人件費比率	0.583	0.599	△0.016、97 (%)	
④外部委託費比率	0.039	0.048	0、81 (%)	
⑤利用者当たり管理コスト	963	730	233、132 (%)	施設利用者の減少によるもの
⑥利用者当たり自治体負担コスト	963	730	233、132 (%)	施設利用者の減少によるもの

#### ①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (毎年度下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	備考
①自己資本比率	41.0%	30.3%	36.9%	37.8%	41.3%	
②流動比率	172.7%	135.2%	164.9%	149.2%	178.0%	
③固定長期適合率	57.5%	59.5%	48.3%	50.7%	40.8%	
④総資産経常利益率	1.3%	0.6%	1.4%	0.3%	8.8%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率}(\%) = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率}(\%) = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率}(\%) = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資産経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産(資産合計)に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資産経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 272,821,613	支払手形 59,200,000
工事未収入金 28,044,454	工事未払金 40,450,777
未成工事支出金 2,287,631	未払金 29,101,064
短期貸付金 4,479,004	未払法人税等 12,822,700
仮払金 480,000	工事前受金 17,242,233
前払費用 20,535	預り金 303,996
未収入金 3,196,357	未払消費税 15,708,900
立替金 △200,000	
流動資産合計 311,129,594	流動負債合計 174,829,670
	固定負債
固定資産	長期借入金 61,830,000
建物 22,648,307	長期未払金 1,218,122
建物附属設備 1,377,475	固定負債合計 63,048,122
構築物 1,267,868	負債合計 237,877,792
機械装置 8,522,641	【純資産の部】
車両運搬具 7,954,709	株主資本金
工具器具備品 2,028,445	資本金 36,500,000
土地 41,742,851	利益剰余金 130,734,597
電話加入権 569,318	純資産合計 167,234,597
ソフトウェア 66,666	
出資金 3,200,000	
差入保証金 50,000	
保険積立金 1,225,749	
長期前払費用 3,047,076	
預託金 281,690	
固定資産合計 93,982,795	
資産合計 405,112,389	負債純資産合計 405,112,389

■損益計算書

完成工事高	1,160,905,300
完成工事高	1,157,876,891
兼業事業売上	1,596,142
自販機売上	1,432,267
工事完成原価	1,040,369,533
兼業事業原価	1,287,470
完成工事原価	1,039,082,063
完成工事総利益	120,535,767
販売費及び一般管理費	85,050,027
営業利益	35,485,740
営業外収益	2,066,601
受取利息	80,662
受取配当金	100,000
雑収入	1,885,939
営業外費用	2,094,700
支払利息	1,317,330
支払保証料	714,335
雑損費	63,035
経常利益	35,457,641
特別損失	753,759
除却損	101,081
有価証券売却損	452,678
税引前当期純利益	34,703,882
法人税・住民税等	12,857,731
当期純利益	21,846,151

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

・上期における施設利用者からの苦情・要望については、公園内の高木の剪定及び緑地の除草の要望があったが、要望を受け迅速に対応している状況であり、苦情も無く市が指導を行うことはなかった。

6 利用者アンケートの結果

(期間：平成27年4月1日～平成27年9月30日、集計枚数57枚)

今回のアンケート調査では20歳未満から70歳以上の幅広い年齢層から回答があり計57枚の回答があった。その中で、女性の回答が7割以上あり、また年齢も30歳代が多く、主に利用する施設として、遊戯施設、教養施設等が多く、施設利用の目的も、子供とのコミュニケーション等、親子が中心となって利用されていることが確認できる。

よく利用する公園としては、湊山公園、弓ヶ浜公園等の大型公園での利用が多い結果であった。

施設運営、設備に関しては満足寄りの回答が多く、適切な運営がされていると判断できる結果であった。